

アルメーレ国際園芸博覧会の概要

令和3年3月23日

1. 今後開催予定の国際園芸博覧会の状況

新型コロナウイルスの影響により、2021年ドーハは2023年に延期が決定した。
2024年のウッチは2029年に延期の方向、2022年のアルメーレは予定通りである。

新型コロナウイルスの影響による開催年の変更

<従前>

2021年 ドーハ国際園芸博覧会
(カタール)
2022年 フロリアード・アルメーレ
(オランダ)
2024年 ウッチ国際園芸博覧会
(ポーランド)
2027年 横浜国際園芸博覧会
(日本)

<2020.9.30時点>

2022年 フロリアード・アルメーレ
(オランダ)
2023年 ドーハ国際園芸博覧会
(カタール)
2027年 横浜国際園芸博覧会
(日本)
2029年 ウッチ国際園芸博覧会
(ポーランド)
※調整中

2. アルマーレ国際園芸博覧会の概要

2022年 アルマーレ国際園芸博覧会

開催期間 2022年4月14日～2022年10月9日

開催場所 オランダ国 アルマーレ市(60ha:臨海部の埋立地、アムステルダムより車で25分程度)

想定来場者数 200万人

テーマ Growing Green Cities (成長する緑の都市)

アムステルダム広域都市圏、アルマーレ市における埋立地での博覧会。
将来的に低層住宅地とする計画のため、全体を192の区画に分割し、
各区画の周囲4mに様々な緑化を行うとともに、環境に配慮した博覧会を目指す。

<会場図>



2020.9.30時点の進捗状況

(AIPH博覧会委員会の進捗報告より)

- ・現時点での参加国:公式参加者14
非公式参加者4
共同館14
- ・公式参加者への敷地引渡:2021年7月予定

<位置図>



図:EXPO2022FloriadeHP <https://floriade.com/en/> (2020年10月08日閲覧)

地図:Google map

<会場イメージ>

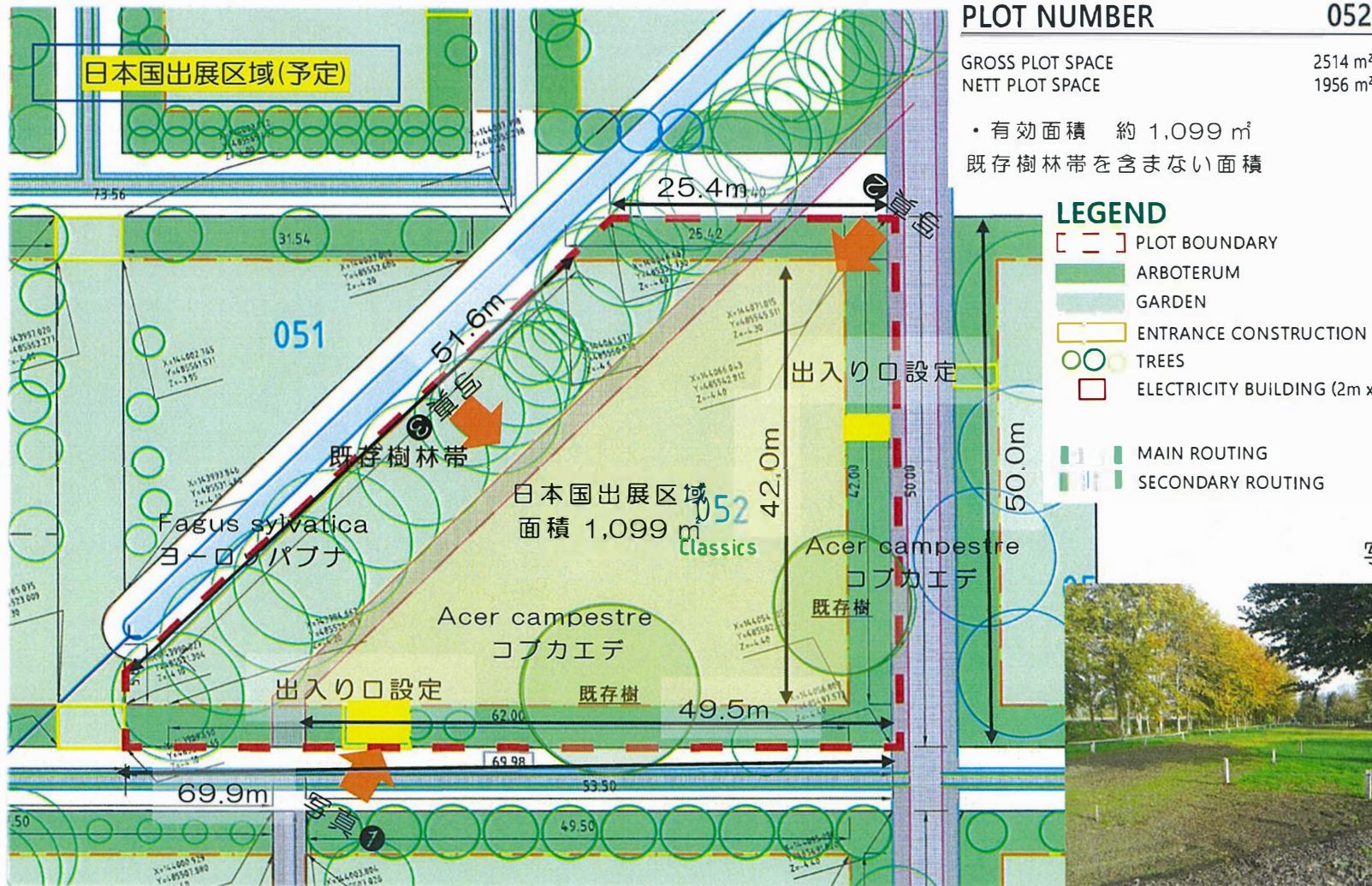


<2019.5月時点の状況>



- 開催期間 2022年4月14日～2022年10月17日
- 開催場所 オランダ国 アルメーレ
(60ha：臨海部の埋め立て地)
- 想定来場者数 200万人
- テーマ **Growing Green Cities (成長する緑の都市)**
サブテーマ：Feeding the city Greening the city
Energizing the city Healthifying the city

アムステルダム近郊のアルメーレにおける埋め立て地での博覧会。将来的に低層住宅地とする計画のため、全体を192の区画に分割し、各区画の周囲4mに様々な緑化を行うとともに、リサイクルの徹底など環境に配慮した博覧会を目指す。



土地利用現況写真(2019.11)

写真①



写真②



写真③



テーマ SATOYAMA Farm Garden(仮)

関東平野にみられる農家及び屋敷林をイメージし、屋敷地と農地、里地、里山が一体となった日本の伝統的な循環型のライフスタイルを表現するとともに、現代の花卉園芸技術や花の文化を屋内・屋外トータルで展示する。

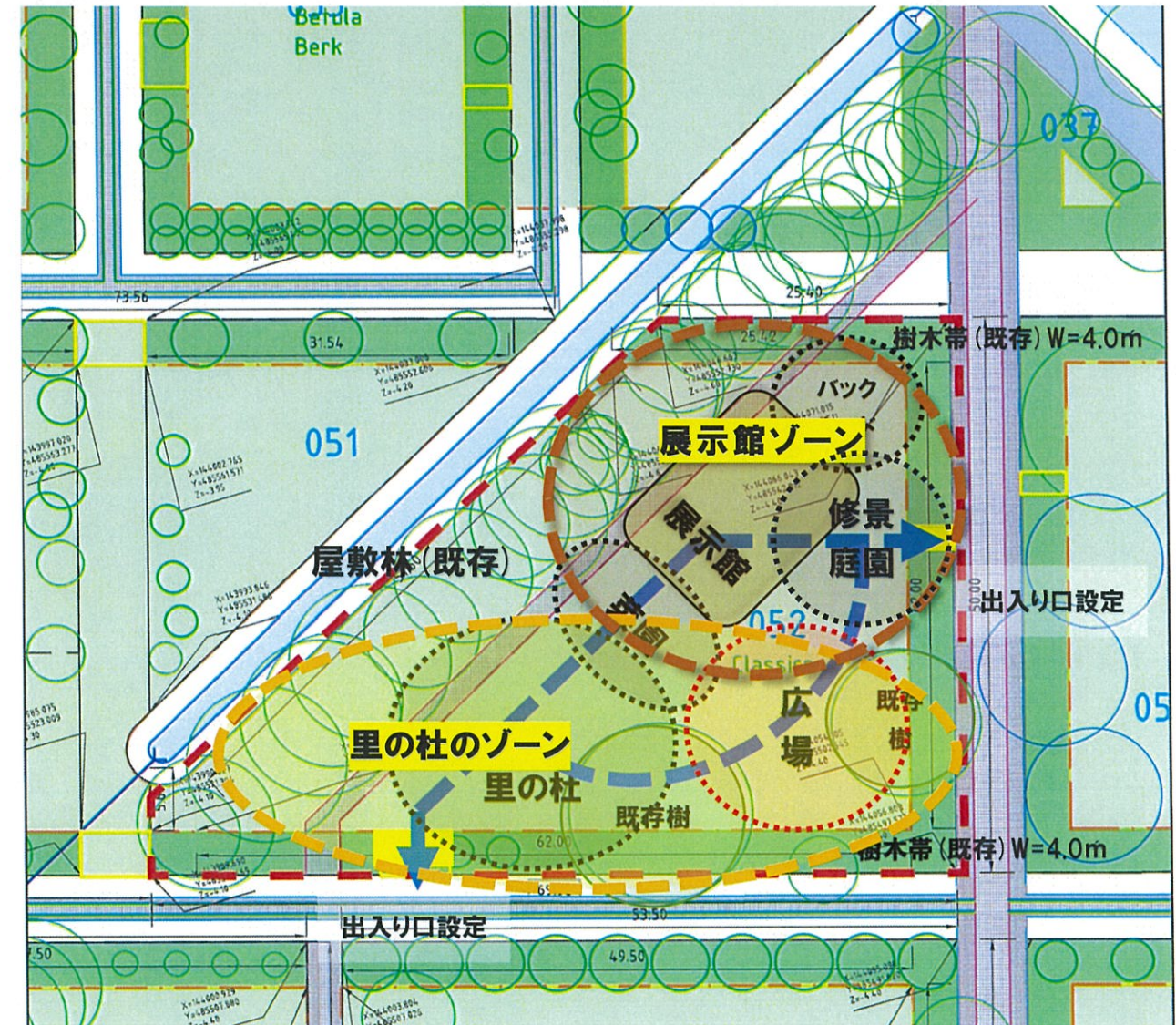
日本国出展方針案

展示館：関東地方の農家をイメージした展示館。フロリアード事務局の指定するリサイクル可能な材料を100%使用し、日本の伝統文化と環境技術が調和した建築内で、日本の花卉園芸技術を屋内展示でPRする。

広場：農家の庭先の広場。こいのぼりや燈籠など和風のしつらえを行い、イベントやレセプション会場などに活用する。

里の杜：里地の風情を持つエントランスエリア。川口市安行の植木や技術を用い、四季の花木やカエデ等により、日本の四季の風情を日本庭園的に表現する。

菜園：花や野菜など季節に応じた栽培ができる畑。展示やイベントを横浜にちなむ形で行い、屋内展示とあわせ横浜園芸博覧会をPRする。



注：日本国出展区域内 園路は整備されない。既存樹林帯の林床は利用可能

関東地方の農家 菜園と雑木林の雰囲気を提供する。

出展庭園構成素材イメージ

竹垣を多用して日本の庭園技術を紹介する。

